

令和元年度

事業報告及び決算

平成31年4月1日

）

令和2年3月31日

公益財団法人高知市文化振興事業団

目 次

令和元年度 事業報告

I 法人の概況

1 設立年月日	1
2 定款に定める目的	1
3 定款に定める事業内容	1
4 主たる事務所の状況	1
5 所管官庁に関する事項	1
6 理事会・評議員会等に関する事項	1
7 役員等に関する事項	2
8 職員に関する事項	3
9 会員の状況	3

II 事業の状況

1 令和元年度事業執行基本方針	3
2 事業実施に係る重要な契約に関する事項	4
3 自主文化事業	5
4 高知市文化祭事業（高知市委託事業）	9
5 中央公民館事業（高知市委託事業）	10
6 横山隆一記念まんが館事業（高知市委託事業）	12

令和元年度 決算関係書類

1 財務諸表	
(1) 貸借対照表	16
(2) 損益計算書（正味財産増減計算書）	17
(3) 損益計算書（正味財産増減計算書）内訳表	19
2 財務諸表に対する注記	21
3 附属明細書	23
4 財産目録	24

監査報告書

令和元年度事業報告

I 法人の概況

1 設立年月日

昭和59年5月30日（平成24年4月1日に公益財団法人に移行）

2 定款に定める目的

市民の文化活動の振興並びに市民の幅広い学習活動や学習成果の活用等に資する事業を行い、もって豊かな市民文化の創造と文化的な都市づくりに寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

- (1) 市民の文化活動の振興に資する展覧会、演奏会、発表会、講演会等の開催
- (2) 学術研究の助成及び出版物の発行
- (3) 美術品・文化財等の収集、保存
- (4) 市民の自主的文化活動の助成
- (5) 市民文化の振興に関する調査研究
- (6) 高知市の委託を受けて行う市民の生涯学習活動の振興に関する事業の実施
- (7) その他定款に定める目的を達成するために必要な事業

4 主たる事務所の状況

高知市九反田2番1号 高知市文化プラザかるぽーと8階

5 所管官庁に関する事項（設立許可及び指導監督に関する権限を有する所管官庁名）

高知県文化生活スポーツ部文化振興課

6 理事会・評議員会等に関する事項

理事会・評議員会の開催状況等

議決年月日	区分	議決事項
01. 5. 29	第1回理事会	(第1号議案)平成30年度事業報告及び決算について (第2号議案)公益財団法人高知市文化振興事業団定時評議員会の開催について (報告事項)特定個人情報等の取扱い状況に関する監査報告
01. 6. 13	定時評議員会	(第1号議案)平成30年度決算について (報告事項)平成30年度事業報告
01. 8. 6	理事会決議事項のみなし決議	(提案事項)令和元年度公益財団法人高知市文化振興事業団事業計画の追加議案(「伝統芸能の夕べ 尾上右近高知公演」)
01. 12. 5	第2回理事会	(第1号議案)令和元年度公益財団法人高知市文化振興事業団事業計画の一部変更に関する議案(こまんさい(まんさい関連事業)の休止) (報告事項)令和元年度職務執行状況報告(平成31年4月1日～令和元年10月31日)
01. 12. 26	理事会決議事項のみなし決議	(提案事項1)公益財団法人高知市文化振興事業団職員就業規程の一部を改正する規程案 (提案事項2)公益財団法人高知市文化振興事業団臨時職員就業規程の一部を改正する規程案

02. 2. 28	理事会決議事項の みなし決議	(提 案 事 項)令和元年度公益財団法人高知市文化振興事業団事業計画の一部変更議案(エブリ・ブリリアント・シング公演取り止め)
02. 3. 4	第3回理事会	(第1号議案)令和2年度事業計画及び収支予算
02. 3. 17	理事会決議事項の みなし決議	(提案事項1)公益財団法人高知市文化振興事業団職員給与規程の一部を改正する規程案 (提案事項2)公益財団法人高知市文化振興事業団常勤役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程案
02. 3. 26	理事会決議事項の みなし決議	(提 案 事 項)公益財団法人高知市文化振興事業団事務局管理職員の選任について
02. 3. 31	理事会決議事項の みなし決議	(提 案 事 項)令和2年度公益財団法人高知市文化振興事業団事業計画の一部変更議案(第87期高知市民の大学の中止及び日程繰り下げ、いきいきセカンドライブ講座の日程繰り下げ)

※ みなし決議の項の「議決年月日」は、決議があったものとみなされた日

7 役員等に関する事項 (令和2年3月31日現在)

(1) 役員

役職名	氏 名	就任日	常勤・非常勤	現 職 等
理 事 長	脇 口 宏	H30. 6. 12	非常勤	高知大学医学部特任教授 高知地域医療支援センター長
副理事長	山 本 正 篤	H30. 11. 2	〃	高知市教育長
専務理事	高 橋 政 明	H24. 4. 1	常 勤	公益財団法人高知市文化振興事業団専務理事
理 事	石 原 文 子	H30. 6. 12	非常勤	高知商工会議所女性会会長
〃	内 田 純 一		〃	高知大学地域協働学部教授
〃	海老塚 和 秀	H24. 4. 1	〃	竹林寺住職
〃	小長谷 悠 紀	H30. 6. 12	〃	高知県立大学文化学部教授
〃	三 谷 英 子		〃	学校法人三谷学園副理事長 RKC調理製菓専門学校常任顧問
〃	山 岡 良 仁	H28. 6. 28	〃	(株)高知教弘代表取締役
監 事	西 村 純 子	H30. 8. 3	〃	(株)四国銀行地域振興部長
〃	橋 本 和 明	H28. 6. 28	〃	高知市財務部長

(2) 評議員

氏 名	就任日	常勤・非常勤	他の法人等の代表状況等
井 奥 和 男	H30. 6. 12	非常勤	公益財団法人高知県文化財団理事長
井 上 良 介	H28. 6. 28	〃	(株)テレビ高知代表取締役社長
大 野 正 貴	H30. 9. 25	〃	高知市総務部長
櫻 井 克 年	H30. 6. 12	〃	高知大学学長
長 瀧 正 隆	H29. 6. 13	〃	高知県経営者協会専務理事
藤 原 潤 子	H30. 6. 12	〃	藤原潤子社会保険労務士事務所
古 谷 純 代	H28. 6. 28	〃	高知サンライズホテル専務取締役
松 岡 さゆり		〃	元高知県文化生活部副部長
宮 田 速 雄	H24. 4. 1	〃	高知新聞社代表取締役社長

(3) 顧問

氏 名	就任日	常勤・非常勤	他の法人等の代表状況等
橋 井 昭 六	H24. 4. 1	非常勤	元高知市文化振興事業団理事長
森 本 忠 彦	H28. 6. 29	〃	元高知市文化振興事業団副理事長

8 職員に関する事項（令和2年3月31日現在）

所 属	氏 名 等
事務局	
企画事業課	課長 戸田久美 課長補佐2人 係長1人 職員8人 臨時職員5人 計17人
横山隆一記念まんが館	館長 田所菜穂子 副館長1人 係長1人 職員2人 臨時職員3人 計8人
合 計	25人（職員17名（うち高知市から派遣1人） 臨時職員8人）

9 会員の状況（令和2年3月31日現在）

種 類	人数	会費収入
サポーターズクラブ C u l ちゃーず	68名	204,000円

II 事業の状況

1 令和元年度事業執行基本方針

高知市文化振興事業団は、昭和59年の設立以来、市民による芸術・文化の創造活動の日常化や文化の時代にふさわしい高知の文化活動の活性化を目指し、高知市における文化振興の実質的な推進母体としての役割を果たしてきた。

高知市文化プラザかるぽーと開館以降は、高知市から中央公民館事業や横山隆一記念まんが館事業等を委託されたことにより、市民の多様な生涯学習活動を支えるとともに、高知のまんが文化振興の推進役として重要な役割も担っている。

この間、芸術・文化を取り巻く状況が大きく変化したことから、平成26年に事業団設立30周年を迎えたことを契機として、新たな事業推進指針を定め、「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」を基本理念と定めた。

令和元年度は、前年度に引き続きこの基本理念を踏まえて自主文化事業、文化祭事業、中央公民館事業及びまんが館事業を展開するものとする。

これらの事業の実施に当たっては、平成30年2月に改訂された高知市文化振興ビジョンとの整合を図りながら、市民文化の新たな創造を目指すこととし、令和元年度は事業団が置かれた財務状況やマンパワーの実情などを十分に考慮しながら、次の基本方針によって各種事業の効果的な展開を図るものとする。

【令和元年度の基本方針】

1 自主文化事業

事業推進指針に定めた基本理念である「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」を実現するため、4つの目標（5～8P）に沿って事業を実施し、市民が誇りを持って日常的に芸術・文化の創造活動に向き合える土壌づくりに取り組む。

各種事業の実施に当たっては、「芸術文化体験や創造活動によるまちづくりや地域づくり」も視野に入れるなど、改訂高知市文化振興ビジョンとの整合を図ることとし、学校や地域などへのアウトリーチ活動やワークショップ活動の一層の充実を図るとともに、事業団ならではのネットワークを活かして市民や学校教育との協働・連携を積極的に進める。

2 文化祭事業

各種文化団体や幅広い世代の市民に向けて作品発表や公演機会を提供し、市民による文化活動を支援するとともに、70回の節目を終え新しい時代を迎える高知市文化祭の一層の充実と振興を図る。

3 中央公民館事業

中央公民館の運営による多彩な生涯学習活動の場を提供することを通じて、市民による自発的な地域の活性化に結び付く取組を進める。

各種の生涯学習講座については、昨年度までの講座の一層の充実を図るとともに、各種講座の受講者数が、平成19年度以降、漸減傾向にあることから、この傾向を打開するため各種講座の活性化計画を策定する。

各種学習室の貸室については、改訂高知市文化振興ビジョンで、コンベンション会場としての中央公民館の利用促進が求められていることなどから、こうした視点も盛り込んで、平成30年度に策定した「高知市立中央公民館貸室利用促進プラン」に沿って取組を進め、学習室全般の貸室利用の促進に取り組むものとする。

それらの取組によって市民の幅広い学習活動や学習成果の活用等に資する事業を行うものとする。

4 まんが館事業

まんが館事業については、新たに策定した「横山隆一記念まんが館活性化計画～『高知市文化振興ビジョン』の改訂を契機として～」に基づいて、この計画で定めた具体的な取組のうち、着手可能なものから順次実現に向けて取り組むものとする。そうした取組を進めることによって、まんが文化を定着・発展させるとともに、まんが文化を活用して地域経済を発展させることも視野に入れまんが館事業を推進する。

今年度の企画展は、事業費予算の関係上、毎年度2回開催していた主要企画展の開催を1回とし、民間企業との共催による2つの企画展を開催する。

近年の、大型客船の入港の増加に伴う外国人観光客への受入れ対策として、多言語対応化されたパンフレット等を積極的に活用して訪日外国人客の誘客に努める。

こうした取組を通じて「まんが王国土佐」の確立・強化に努め、高知県や民間団体の企画とも協働してまんが文化の活性化を進める。

2 事業実施に係る重要な契約に関する事項（1件500万円以上の契約）

No.	契約年月日	相手方	契約金額	契約期間	契約内容
1	H31. 4. 1	高知市長 高知市教育長	42,289,907円	H31. 4. 1～R02. 3.31	高知市立中央公民館及び横山隆一記念まんが館運営業務委託
2	H31. 4. 1	高知市教育長	7,240,648円	H31. 4. 1～R02. 3.31	高知市文化祭事業委託
3	H31. 4. 1	高知市教育長	53,308,240円	H31. 4. 1～R02. 3.31	高知市立中央公民館事業委託
4	H31. 4. 1	高知市教育長	43,342,037円	H31. 4. 1～R02. 3.31	横山隆一記念まんが館事業委託
5	H29. 7. 1	伊予鉄総合企画 (株)高知営業所	*契約額 23,146,668円 (～R01.9月額640,000円) (R01.10～月額651,852円)	H29. 7. 1～R02. 6.30	横山隆一記念まんが館受付案内等業務委託

3 自主文化事業

改訂高知市文化振興ビジョンの「文化振興の具体的な進め方」との相関性を図りながら、事業推進指針に掲げた基本理念を実現するための4つの目標に基づき、話題性や多様性のあるプログラムの提供を行った。

(1) 目標1 つながる・つなげる～「市民協働・連携の推進」

市民や関係団体などの協働と連携によって、そのパートナーの活動を尊重しながらサポートし合い、「文化の協働と連携」を推進するとともに、創造活動を通じて子どもたちや高齢者、障がい者などの社会参加を促す事業を実施した。

事業名	会場	期日	入場者等	備考
キッズフリーマーケット2019	ギャラリー	7. 7(日)	約1,000人	協賛・協力:株式会社高知銀行 金高堂書店
とさつ子タウン2019	ギャラリー	8.17(土)・18(日)	約700人	とさつ子タウン実行委員会等3団体共同主催
高知街ラ・ラ・ラ音楽祭2019	市内11カ所 (飛び入り会場含む)	9.15(日)	約5,000人	高知街ラ・ラ音楽祭2019実行委員会主催
かるぽーと大階段合唱コンサート*	大階段	10.30(水)	約100人	かるぽーと指定管理者(共同企業体)主催
合計	事業数	3	約6,700人	

合計数は*印事業を除く。

《事業概要》

キッズフリーマーケット2019 売るのも買うのも子どもたちだけで行うフリーマーケットを通してお金の大切さや、モノの価値、人とのコミュニケーションを学び社会性を育む場を提供した。今年は、110ブースに258組592人の申し込みがあり、抽選の結果255人の子どもたちが出店した。 * 協賛・協力:株式会社高知銀行、金高堂書店

とさつ子タウン2019 小学4年生から中学生までの子どもが創る仮想社会で、様々な仕事を通じて社会の仕組みを知ることや、子ども同士のコミュニケーションを図ることを目的として毎年実施している。高校生・大学生がスタッフとなり、子どもたちは自分たちのまちを自分たちで創り、働いて得た収入(通貨)で納税をし、いろいろな遊びや買い物を体験した。 * 主催3団体:「とさつ子タウン」実行委員会(事業団参画)・認定特定非営利活動法人NPO高知市民会議・高知市市民活動サポートセンター

高知街ラ・ラ・ラ音楽祭2019 高知市の中心市街地に野外ステージを設け、公募により参加したミュージシャンが演奏を行う恒例の音楽祭。18回目の今回は、オーテピアほか10会場で開催されたほか、飛び入りできる特設会場(帯パラ)も賑わい、各会場で県内外から参加した出演者の演奏に商店街を歩き交う人々の人だかりができていた。

* 高知街ラ・ラ・ラ音楽祭2019実行委員会(事業団参画)主催

かるぽーと大階段合唱コンサート 高知市文化プラザ共同企業体(かるぽーと指定管理者)による開催に協力。ライトアップされたかるぽーとを背景に、市内の中高3校と市民合唱団が出演した。

(2) 目標2 生み出す～「次世代につなぐ高知の文化資産の継承・創造・発信」

地域の「幸福度」は足元の豊かさに気づくことから高められることから、高知に紡がれてきた美術、映像、まんが、文芸作品などの有形、無形の文化資産を継承するとともに、高知ならではの文化を創造し発信するため、地域のアーティストと連携し創造活動を支援する事業等を実施した。

事業名	会場	期日	入場者等	備考
KIDS AUTUMN PARTY in かるぽーと キャンプ場	大ホール ステージ	10.12(土)・13(日)	320人	4公演
若手美術作家支援事業 Kochi Art Messe vol. 2	ギャラリー	1.17(金)~23(木)	554人	公募45人, 103点
第36回写真コンテスト・高知を撮る				
作品募集	—	締切1.31(金)	—	応募95人, 294点
入選作品展	ギャラリー	3.17(火)~22(日)	中止	
第30回高知出版学術賞				
推薦募集	—	締切1.31(金)	13点	推薦図書
表彰式	中央公民館	3.20(金)	中止	審査日2.15・3.6
アーティストバンク	—	通年	—	
合計	事業数	5	874人	

《事業概要》

KIDS AUTUMN PARTY in かるぽーと キャンプ場 かるぽーと大ホールの客席は使用せず、舞台上にキャンプ場を造作。音響・照明・映像を駆使し、朝や夜、晴れや雷雨を体感しながら0歳から大人まで1泊2日のキャンプを90分間で疑似体験できるイベント。キャンプ場には小さなステージがあり、3組のアーティストがそれぞれの特色を活かした音楽を奏で参加者は自由に歌い踊った。(4回公演)

若手美術作家支援事業「Kochi Art Messe vol. 2」 16歳から40歳未満の若手美術作家の公募作品の展示と販売を行う、美術の“見本市”を開催。若手美術作家を紹介すると共に、美術の楽しみ方を提案する場でもある。今回は、45人の作家から103点の作品が寄せられ、21点を販売した。なお、1点あたりの平均販売単価は5,443円。

第36回写真コンテスト・高知を撮る 過去から現在に至るまでの高知県内の出来事や風景、人々の暮らしを写真で記録し、高知の様々な表情を伝えるとともに、未来の高知のあるべき姿を考える。受賞作品展とその初日の表彰式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。応募状況、受賞作品等は次のとおり。

募集期間	応募総数	各賞		
12.1 ~ 1.31	記録写真部門:113点 記録性を持った高知県に関する写真 ・昭和以前の部: 11人20点 ・平成以降の部: 47人93点 I LOVE 高知部門: 74人181点 撮影者の好きな高知の風景・風俗等を表現した写真(1年以内に撮影)	審査: 2.7 表彰式: 3.17(中止)		
		【特選】		
		記録写真部門		
		昭和以前の部	昭和39年オリンピック 東京大会 聖火リレー	松山 久生
		平成以降の部	かつら祭り	乗松 賢二
		I LOVE高知部門	ポケをバックに 九反田の春	横島 正彦 横山 幸代
【その他の作品数】				
記録写真部門				
昭和以前の部	準特選: 3, 入選: 6			
平成以降の部	準特選: 7, 入選: 14			
I LOVE高知部門	準特選: 10, 入選: 22			

第30回高知出版学術賞 高知における学術研究を振興し、県勢の進展に資することを目的とし、当該年における最も優れた学術出版に出版学術賞を顕彰。また、平成26年度からは特別賞を新設し、高知県の出版・研究活動を奨励する学術出版に特別賞を授与。平成31年度の受賞作品は次のとおり。表彰式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

【受賞作品】

賞	作品名	著編者	出版社
出版学術賞	『土佐の山城 山城50選と発掘された23城跡』	松田 直則 編	ハーベスト出版刊
特別賞	『大学的高知ガイドーこだわりの歩き方』	高知県立大学文化学部 編	昭和堂刊

アーティストバンク 地域で活動するアーティストのプロフィールや公演情報などを集約し、事業団のホームページで情報発信している。

(3) 目標3 育む～種をまき続け、ともに育つ「きっかけづくりと人材育成」

文化に親しむきっかけづくりとしての事業や、新たな鑑賞者の育成、芸術文化活動の担い手を育てるための人材育成事業を実施した。

事業名	会場	期日	入場者	備考
キエフ国立フィルハーモニー交響楽団 ふたつの第九コンサート	大ホール	12.25(水)	617人	自治総合センター： コミュニティー助成 事業
ワークショップ	大ホール	12.24(火)	156人	
田上パル「Q学」	小ホール	2.1(土)・2(日)	138人	2公演 地域創造：連携プロ グラム助成事業
ワークショップ	小ホール	2.2(日)	16人	
エブリ・ブリリアント・シング	大ホール ステージ	2.29(土)・3.1(日)	中止	日本芸術文化振興 会：劇場・音楽堂等間 ネットワーク強化事 業助成事業
合計（ワークショップ参加者数は除く）	事業数	3	755人	

《事業概要》

キエフ国立フィルハーモニー交響楽団「ふたつの第九コンサート」 東欧における最も優れたオーケストラとして高い評価を確立しているウクライナ国立フィルハーモニー協会専属のオーケストラ。ドヴォルザークの交響曲第9番『新世界より』とベートーヴェンの交響曲第9番『合唱付き』のふたつの第九を楽しむコンサート。楽団指揮者の指導によるワークショップを実施し、高知県合唱連盟の合唱団156名も出演した。

* 自治総合センター：コミュニティー助成事業

田上パル「Q学」 全国9都市ツアーとして開催された演劇公演。高知公演では、この内4団体と提携し(一財)地域創造の助成で演劇公演とワークショップを実施。現代の少年少女が抱える社会的背景を描き出し、その人間関係と協働性を問いかける内容で、特に若年層への鑑賞機会の提供及び表現活動に触れるきっかけづくりとなった。第2回公演では、初の試みとして本番の余韻が残る中で終演後に公開ワークショップを行った(2回公演)。

* 地域創造：連携プログラム助成事業(連携団体：北九州市、三次市、八戸市、盛岡市(幹事館))

エブリ・ブリリアント・シング 令和2年2月28日付けみなし決議による取り止め事業。海外で一大旋風を巻き起こした斬新な舞台の日本初演。出演：佐藤隆太、演出・翻訳：谷賢一。出演者を360度囲む客席を大ホールステージ上に配置し、出演者からの問いかけにより観客もこの物語を構成する一部となり物語の体験者となる舞台であったが、全国ツアー千秋楽であった高知公演が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため本番2日前に中止を決定。完売していたチケットは払い戻した。

日本芸術文化振興会：劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業助成事業

(4) 目標4 すそ野を広げる～「優れた芸術・文化の提供による鑑賞者の育成」

さまざまな層の市民に対して優れた芸術・文化の鑑賞機会を幅広く提供し、鑑賞者を育成するとともに、芸術・文化を理解する市民のすそ野を広げる事業を実施した。

事業名	会場	期日	入場者	備考
武田真治feat. Shiho with special guest K	大ホール	5.2(木)	490人	
第13回ごふく美馬伝統芸能の夕べ 「尾上右近 第1回高知公演」	大ホール	9.11(水)	750人	
劇団空晴「明日の遠まわり」	小ホール	9.14(土)・15(日)	165人	2公演 劇団空晴と共催
ニッセイ名作シリーズ「ムーミン谷の夏まつり」	大ホール	1.30(木)・31(金)	3,087人	4公演 (公財)ニッセイ文化 振興財団と共催

劇団四季こころの劇場公演 「カモメに飛ぶことを教えた猫」	大ホール	2.26(水)・27(木)	2,541人	3公演 劇団四季 舞台芸術センターと共催
合 計	事業数	5	7,033人	

《事業概要》

武田真治 feat. Shiho with special guest K 俳優、タレントとして幅広く活躍し、筋肉体操で話題沸騰中の人気サックス・プレイヤー武田真治と、元Fried Pride(フライドプライド)のジャズ・ヴォーカリストとして、日本人離れした類まれな歌唱力を持つShiho(シホ)、さらに、実力派シンガー・ソングライターとして数々のヒット曲をもつK(ケイ)の豪華メンバーによる一夜限りのジャズライブ。笑いの絶えないMCから一変して、本格的な演奏と2人のヴォーカリストの共演、メリハリのある構成で、クオリティの高いエンターテインメントを提供した。

伝統芸能の夕べ「尾上右近 高知公演」 令和元年8月6日付けみなし決議による追加事業。尾上右近は歌舞伎役者として活躍しながらも、清元の家元として清元栄寿太夫を襲名し、浄瑠璃方としても活躍しており、今回はその両方の演舞が見られる贅沢な公演となった。また幕間には、スペシャルトークと題した尾上右近の素顔が垣間見える時間もあり、伝統芸能に対する親しみを抱かせる一助となった。

劇団空晴「明日の遠まわり」 大阪に拠点を置く小劇団による初の高知公演。劇団との共催。夫婦、家族など、身近なテーマで笑いあり涙ありのテンポ良い舞台に、各公演で観客が引き込まれていく様子が見てとれ、新たな鑑賞者育成につながった(2回公演)。

* 劇団空晴との共催事業

ニッセイ名作シリーズ「ムーミン谷の夏まつり」 小学校低学年や園児を対象とした無料鑑賞公演。高知市だけでなく、周辺市町村の子どもたちにも上質な舞台公演を提供し、今後の鑑賞者育成につなげていく。令和元年度は、市内外の小学校35校と、市内の幼稚園・保育園42園から引率教諭を含む3,087人が観賞した(4回公演)。

* 公益財団法人ニッセイ文化振興財団との共催事業

劇団四季こころの劇場公演「カモメに飛ぶことを教えた猫」 市内の小学6年生を無料招待する公演。子どもたちに命や友情、思いやりなど生きていく上で大切なことを舞台「カモメに飛ぶことを教えた猫」を通じて語りかけた。39校の2,541人の児童が鑑賞した(3回公演)。

* 市教育委員会との連携事業/劇団四季、舞台芸術センターとの共催事業

(5) 出版事業

既刊の出版物を書店等を通じて販売。3月末までに計20点、78冊を販売した。

(6) 広報

- ① 機関誌「文化高知」 No.209(5月号)～No.214(3月号)を発行済。
- ② その他の広報 かるぽーと広報「年間行事案内」や高知市広報「あかるいまち」や地元情報誌の告知枠、マスコミへの取材依頼による告知記事等を通して、各種事業を広く周知し、文化事業の広報に努めている。また、令和元年11月に財団のホームページをリニューアル。フェイスブックに続きInstagramとTwitterも開設し、幅広い年齢層へのPRに着手したほか、サポーターズクラブ「Cu1ちャーず」の会員増に努めている。

4 高知市文化祭事業（高知市委託事業）

(1) 活動支援事業

文化祭参加行事の質の向上と文化祭の活性化のための助成事業及び各種文化団体の情報収集に努め、本事業の周知を図り、参加を呼びかけた。高知市文化祭参加団体・行事数は、前年度より1団体、1行事増加した。

- 参加行事総数：41行事（助成対象団体数：40団体）
- 助成総額：2,115,000円

(2) 文化祭開幕行事

高知市文化祭の皮切りとなる開幕行事は、「大正琴でつづる日本の曲」と題し、優しく懐かしく郷愁を誘う大正琴の音色を二部構成で披露した。一部では日本で広く親しまれている様々なジャンルの名曲を演奏し、演奏曲には情感あふれる舞や歌とのコラボレーションも。二部では数多くの童謡を生み出した安芸市が誇る作曲家、弘田龍太郎の在りし日を妻のゆりとお手伝いの八重が、縁側で懐かしく思い出すシーンの演劇に、安芸の児童合唱団はまゆうの子どもたちが登場し、演奏に合わせて龍太郎の童謡を合唱した。

事業名	会場	期日	入場者	備考
第71回高知市文化祭開幕行事 「大正琴でつづる日本の曲」	大ホール	4.14(日)	400人	主催：高知市文化祭執行委員会他 主管：(公財)高知市文化振興事業団・高知市教育委員会 あじさい会他出演者：49人

(3) 高知市展

5月25日(土)から6月9日(日)の会期でアンデパンダン(公募・無審査)方式による絵画・書道・彫刻・写真など10部門の作品展を実施した。関連イベントとして、6月2日(日)に小中学生を対象とした体験イベント「こどもアートまつり あなたダビンチ ぼくピカソ」を開催。会期前・会期中に講習会・研究会を行い出品者及び鑑賞者の研鑽の場も提供した。また姉妹都市である北海道北見市からの美術交流作品31点を展示し、10月の北見市の美術展には高知市展の作品25点を出品した。

事業名	会場	期日	入場者等	備考	
第71回高知市展	市民ギャラリー 他	5.25(土)~6.9(日)	2,627人	出品516人(666点) 北見市31点	
こどもアートまつり 「あなたダビンチ ぼくピカソ」	北側広場他 10ブース	6.2(日)	延べ3,900人	9部門参加	
講習会・研究会等	彫刻講習会(全身像コース)	3.5(火)~3.31(日)	10人	彫刻専門部会	
	彫刻講習会(頭像コース)	3.30(土)~4.20(土)	10人	彫刻専門部会	
	「一日作陶体験会」	4.7(日)	20人	陶芸専門部会	
	「型染めでエコバッグを作ろう」	4.7(日)	16人	工芸専門部会	
	「まんが家体験プレまんが絵師Lesson」	第2学習室	4.21(日)	6人	デザイン専門部会
	「絵画材料研究支持体篇」	絵画室	4.28(土)	7人	絵画専門部会
	「岩絵具で源氏物語を描いてみよう！」		5.12(日)	15人	日本画専門部会
	現代美術二等兵講演会「たどりついたらいつも駄美術」	第3学習室	5.26(日)	40人	先端美術専門部会
	デザイン作品研究会	市民ギャラリー	5.26(日)	2人	デザイン専門部会
	書道作品研究会		5.26(日)・6.8(土)	60人	書道専門部会
	絵画作品研究会		6.9(日)	30人	絵画専門部会
	日本画作品研究会		6.9(日)	25人	日本画専門部会
	彫刻作品研究会		6.9(日)	40人	彫刻専門部会
	陶芸作品研究会		6.9(日)	15人	陶芸専門部会
	写真作品研究会		6.9(日)	35人	写真専門部会
ペン字作品研究会	6.9(日)		15人	ペン字専門部会	
講習会・研究会合計	開催数	16講習会等	346人		
第72回高知市展ポスターデザイン募集		締切：2.1.10(金)	応募91人115点	デザイン専門部会	

5 中央公民館事業（高知市委託事業）

(1) 各種講座等事業

市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応しつつ、社会教育、生涯学習に求められるものを探りながら、各種講座では試行錯誤を繰り返して学習テーマを選定し、多様な学習機会の提供と参加者増に努めた。

事業名		会場	期日	受講者等	備考	
高知市民の大学	第85期2コース	中央公民館 各室	4. 2(火)～7. 26(金)	226人		
	第86期2コース		9. 27(金)～2. 2. 7(金)	129人		
いきいきセカンド☆ ライフ講座	前期3コース		4. 10(水)～7. 5(金)	275人	野外学習・伯方の塩工場他	
	後期3コース		10. 8(火)～2. 1. 10(金)	205人	野外学習中止	
市民学校	第193回(春)全28科目		5. 14(火)～8. 8(木)	489人	1科目休講(野菜で食育!おやつの時間)	
	第194回(秋)全29科目		9. 12(木)～12. 13(金)	498人		
	年末特別教室		12. 11(水)～12. 21(土)	60人		
	作品展		市民ギャラリー	12. 17(火)～12. 22(日)	466人	入場者
市民講座	初夏5科目		中央公民館 各室	5. 11(土)～6. 28(金)	100人	
	秋冬5科目		10. 3(木)～12. 7(日)	78人		
第50回高知市民頭脳 スポーツ大会	入門講座	和室	5. 5(日・祝)	45人		
	本大会(5競技)	中央公民館各室	6. 16(日)	254人		
市民映画会	第188回	大ホール	6. 21(金)・22(土)	683人		
	第189回		9. 12(木)・13(金)	657人		
	第190回		2. 1. 16(木)・17(金)	508人		
合計		講座数等	11講座, 80科目ほか	4,207人		

*作品展入場者数は除く

(2) 第69回高知市夏季大学

7月16日(火)から7月27日(土)の日月を除く10日間、開講した。テレビ等で著名な講師による講演を提供し、延べ10,613人が受講した。かるぽーとで10日間開催になった第57回以降では、2番目に多い受講者数となった。

高校生・大学生を対象とした「トライアル聴講・特別受講票(1講座300円)」は、受講者数189人と前回からほぼ半減した。当日券の販売枚数は353枚だった。

講演日	分野	講師	演題	受講者
7. 16(火)	社会・生活	NHK 報道局記者主幹 大越 健介	壁の正体	1,123人
17(水)	健康・福祉	落語家・医学博士 笑いと健康学会理事 日本ベンクラブ会員 立川 らく朝	笑えば健康 笑って長生き	1,061人
18(木)	政治・国際	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授 岸 博幸	地方創生の正しい処方箋	957人
19(金)	環境	気象予報士 天達 武史	天気の達人・天達武史と考える ～気候変動と地球の未来	1,027人
20(土)	スポーツ	元プロテニスプレーヤー 沢松 奈生子	ウィンブルドンの風に誘われて ～日本人テニスプレーヤーの躍進とこれからの展望～	909人
23(火)	産業・経済	株式会社DDホールディングス 代表取締役社長 松村 厚久	『熱狂宣言』～大胆かつ劇的に行動する～ Dynamic & Dramatic	1,075人
24(水)	芸能	フリーアナウンサー ことばのアカデミー校長 河野 景子	今求められることばの力	1,105人
25(木)	科学	サイエンス作家 竹内 薫	人工知能の進化～共存し、生き残る道とは	883人
26(金)	文学・歴史	作家 林 真理子	私の仕事から	1,271人
27(土)	文化・芸術	俳句集団「いつき組」組長, 俳人 夏井 いつき	俳句のある人生	1,202人
合計				10,613人 1,061人/日

(3) 貸室事業

学習室の貸室の状況は下表のとおり。昨年度に策定した「中央公民館・貸室促進プラン」に基づき、令和3年度末の貸室稼働率40%を目標として事業に取り組んだが、稼働率は、中央公民館がかかるぼーとに併設された平成14年度以降、最低となった。

年度 区分	令和元年度 (対平成30年度)	平成30年度 (対平成29年度)	平成29年度 (対平成28年度)
利用人数	124,354人 (4,013人 103.3%)	120,341人 (▲1,113人 99.1%)	121,454人 (▲6,024人 95.3%)
稼働率	34.8% (▲0.9ポイント 97.5%)	35.7% (▲2.8ポイント 92.7%)	38.5% (+0.5ポイント 101.3%)

稼働率が大幅に低下した要因は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に尽きる。12月末までの稼働率は39.7%であったが、1月になって徐々に貸室利用のキャンセルが出始め、3月は稼働率10.5%、利用者数2,001人であった。

(4) 生涯学習講座活性化計画の策定

各種講座の受講者が漸減傾向にあることから、「公民館事業における各種生涯学習講座活性化計画」を策定した。生涯学習事業の共通課題と個々の講座の課題をそれぞれ分析し、短期から中期の取組を定めた。令和2年度から順次着手する。

6 横山隆一記念まんが館事業（高知市委託事業）

まんが館は、横山隆一の業績を広く顕彰するとともに、高知のまんが文化を継承することによって市民文化の振興に寄与することを目的としている。この目的を実現するため、隆一作品の展示、資料整理を行うとともに、様々なプログラムにより、市民がまんが文化に親しみ、ユーモア精神に触れ、ゆとりと交流を楽しみながら、知的・創造的な刺激を受ける場を提供するため、常設展示をはじめ、以下の事業を行った。

(1) 観覧者等の状況

年間のまんが館の利用者合計総数は、42,972人となり、平成30年度と比較して、総数で9,733人減少した。企画展観覧者数は5,526人、常設展観覧者数は113人、ライブラリー利用者数は4,094人それぞれ減少した。

その要因には、館主催の企画展が1本減ったことや開催した企画展の集客力の問題のほか、新型コロナウイルス感染症対策のため、3月4日・5日にライブラリーを閉鎖し、企画展開催中の3月6日～22日の間、全館休館措置を講じたことが上げられる。なお、3月31日には館内工事（工事期間は4月5日まで）のため展示室を閉鎖した。

開館日数	展示室観覧者数			ライブラリー利用者数	合計	
	区分	常設展	企画展			小計
300日	有料	2,311人	4,073人	6,384人	—	6,384人
	無料	4,596人	2,096人	6,692人	29,896人	36,588人
	小計	6,907人	6,169人	13,076人	29,896人	42,972人

《対前年比》

▲14日	増減	▲113人	▲5,526人	▲5,639人	▲4,094人	▲9,733人
------	----	-------	---------	---------	---------	---------

(2) 企画展

本年度も引き続き民間企業の協力を受け共催事業に積極的に取り組んだ。日本のまんが表現を理解してもらうのに役立つ、「この史代のギガタウン漫符図譜」の原画展を京都国際マンガミュージアムの企画協力を得て実施した他、30年以上にわたり小学生に絶大な人気をほこる図書「かいけつゾロリ」シリーズの巡回展をテレビ高知との共催により実施した。

館単独では、高知のまんがの今を紹介する「高知のまんがあれこれ展」と地元で活動する2つのまんがグループの合同作品展「まんが・漫画・マンガ展」を統合して「高知のまんが・漫画・マンガ展！」を開催。また、館所蔵の隆一コレクションを公開する企画展として、「カメラと隆一～集めることに意味がある～展」を実施した。

事業名	会場	期日	入場者	備考
まんが・漫画・マンガ展！2019	企画展示室	3.16(土)～3.31(日)	461人	30年度(参考)
		4.1(月)～4.7(日)	148人	
この史代のギガタウン“漫符図譜”展		4.26(金)～6.30(日)	1,093人	テレビ高知共催
2019高知のまんが・漫画・マンガ展！		7.20(土)～9.1(日)	932人	
かいけつゾロリ大冒険展		9.14(土)～11.10(日)	3,017人	テレビ高知共催
第15回まんがの日記念・4コマまんが大賞作品展		11.30(土)～12.27(金)	427人	
カメラと隆一～集めることに意味がある～展		1.25(土)～3.29(日)	552人	3.6～22臨時休館
合計(30年度、関連イベント(13p)除く。)	開催数	6企画展	6,169人	

《事業概要》

この史代のギガタウン“漫符図譜”展 民間企業との協力によって、一体となってまんが館へより多くの集客を図る企画展として、京都国際マンガミュージアムで開催された「ギ

ガタウンインテラタウン」の巡回展を実施した。

「この世界の片隅に」などで知られる、この史代の「ギガタウン漫符図譜」(2018年、朝日新聞出版)の貴重な原画を展示するとともに、“漫符”ひいてはまんが表現そのものの豊かな世界を深掘した解説を加えて、日本のまんが文化を知ってもらう展示を行った。

2019高知のまんが・漫画・マンガ展! 高知漫画集団、高知漫画グループくじらの会は、ともにセミプロ、アマチュアのまんが家からなる高知を代表するまんがグループであり、地元高知に根付いた活動を続けている。その両グループの活動紹介や新作発表の場として毎年展覧会を開催。今回で18回目(合同では16回目)となる。今年は「世界まんがセンバツ」、「漫画家大会議の漫画家甲子園」といった県内で行われたまんがイベントの紹介、「雑草のサバイバル大作戦ドクターマキノの植物たんけん」の原画を中心に、里見デザイン室の仕事を紹介した。また、会期中には関連イベントとして「似顔絵コーナー」において作家と来場者の交流を図ったほか、夏休みの「まんが体験イベント」とのコラボレーション企画として、子ども向けのまんが体験イベントも実施した。

関連イベント

イベント名	期 日	参加者
まんが動物園をつくろう!	8.16(金)	52人
まんがぱっくんアニマルをつくろう!	8.17(土)	51人

かいけつゾロリ大冒険展 小学生に大人気のキツネの主人公・ゾロリと仲間たちの大冒険を描いた本『かいけつゾロリ』シリーズは開始から30年以上となる。これまで発行された65巻に描かれたストーリーと歴史を、150点を超える原画とお宝の造形物を使って振り返る作品展で、本の世界を体感しながら楽しめる展覧会となった。

関連イベント

イベント名	期 日	参加者
原ゆたか先生サイン会	9.14(土)	90人

カメラと隆一～集めることに意味がある～展 二十世紀を共に生きたカメラコレクション まんが館が所蔵する473台の隆一のカメラコレクションの中から、珍品・逸品、クラシックカメラなどテーマに合わせてカメラ467台を展示した。また、実際に隆一が撮った写真やカメラについて語ったインタビュー、まんがの中でカメラがどんな風に描かれていたかを紹介した。毎週火曜日・木曜日・土曜日には展示担当職員による展示解説の時間も設けた。

関連イベント

イベント名	期 日	参加者
ギャラリートーク (講師:中島健藏氏)	2.22(土) 午前・午後	計17人
ギャラリートーク (講師:中島健藏氏)	3.7(土) 午前・午後	中止
ワークショップ 「ピンホールカメラを作ってみよう!」	3.22(日)	中止
人気投票「一番かっこいいのは誰だ!?!」	会期中	136人
クイズ「カメラは何台あるでしょう?」	会期中	251人
クイズ「私はだ〜れ!?!」	会期中	107人
入場者合計		511人

* 表中のイベント中止は、新型コロナウイルス感染拡大防止によるもの。

(3) 第15回「まんがの日記念・4コマまんが大賞」の募集及び関連記念事業

横山隆一が4コマまんがの名手であったことから、全国でも珍しい4コマまんがに限定

したまんが賞として、故やなせたかしの提唱と支援により平成17年度に創設。ジュニア(小学生以下)、一般(中学生以上)の2部門で募集を行い、902人、1,127点の応募があり、次の受賞者が決定した。

部	区 分	タイトル	名前(ペンネーム)	部	タイトル	名前(ペンネーム)
一 般 部 門	フクちゃん大賞	人工知能	ダンヨシコ	ジ ュ ニ ア 部 門	ペンギン流 夏の過ごし方	築井粟乃
	高知市長賞	空き家活用	浅沼ひろゆき		物語ははじまらない	蟹井綾斗
	やなせ兎賞	夏の一騎打ち	ジョンソン エマリー		だいじょうぶなかあさん	川窪里衣紗
	よさこい賞	PEACEのPIECE	村岡正浩		おやすみ、お母さん	小泉志織
		センターライン	小林尚武		もちつき	Kurunko
		熱中症	重成正雄			
	学 校 賞	学校法人高知学園高知小学校, 南国市立大篠小学校				

第15回まんがの日記念・4コマまんが大賞作品展 11月30日から12月27日の期間、横山隆一記念まんが館企画展示室で4コマまんが大賞作品展を実施。入賞作品と、一次審査通過作品および県内応募作品など計472点を展示、427名の来場者があった。入賞作品を除いた展示作品の中から、来場者の投票により「ギャラリー賞」を選定。一般、ジュニア各部門各5作品が選ばれた。

(4) まんさいーこうちまんがフェスティバル2019

新しいまんが文化を高知から全国に発信するイベント「まんさいーこうちまんがフェスティバル2019」を11月2日(土)、3日(日・祝)に実施した。「みる、かく、あそぶ」をテーマに子どもから大人まで楽しめる当イベントは、四国最大級のまんが・アニメの祭典に成長。17回目の今年もまんがグッズづくり、声優トークショーやライブドローイングなど、さまざまなコーナーを展開し、2日間で延べ2万3千人余りの入場者となった。(パスポート購入者他:6,408人。前年度比、延べ▲約7,000人、パスポート購入者等実人数▲約1,700人。要因:子ども向けの人気イベント「小学館『コロコロコミックブース』」の休止)

中心市街地活性化イベントとして行ったまんさいクーポンに、26店舗が協賛し、79枚の使用実績があった。

イベントの企画・運営は市民参加型の実行委員会を中心に行っている。

花見の宴(まんさい関連事業) 鎌倉の横山隆一郎の八重桜(「フクちゃん桜」と命名)が高知市に贈られたのをきっかけに始まった恒例の「花見の宴」。4月6日(土)から1階レストランで開催。横山家をはじめ、県内まんが家、文化・経済・行政関係者約82人が交流した。(まんさい実行委員会主催)

MEGA!マン研(まんさい関連事業) 県内在住まんが関係者によりまんがの描き方、コマ割り、ストーリーの展開の仕方などを指導するまんが教室。4月13日(土)・14日(日)、10月5日(土)・6日(日)に開催した。参加人数は105人。(まんさい実行委員会主催)

こまんさい(まんさい関連事業) 春先恒例の観光イベント「土佐のおきやく」において「こまんさい」と題し、はりまや橋商店街に出店して「まんさい」をPRする事業を行ってきたが、本年度は実行委員で参加できるものがおらず、休止とした。(まんさい実行委員会主催)

(5) まんが体験イベント

まんが文化の担い手を育てるため、子どもたちにまんがに親しんでもらう体験イベントを夏休み期間中に6コース、12講座行った。まんがをテーマにした風鈴・石けん・牛乳パ

ックアニマル・動物園・水族館・万華鏡制作に333人が参加した。

12月22日(日)には、「まんがで遊ぼう！プレクリスマス」を開催。

コース名	日程	回数	参加者
まんが水族館をつくろう！	7.27(土)	2回	59人
まんが風鈴をつくろう！	7.28(日)	2回	57人
まんが石けんをつくろう！	8.6(火)	2回	54人
まんが万華鏡をつくろう！	8.7(水)	2回	60人
まんが動物園をつくろう！(再掲)	8.16(金)	2回	52人
まんがぱっくんアニマルをつくろう！(再掲)	8.17(土)	2回	51人
		全12回	計 333人
まんがで遊ぼう！プレクリスマス	12.22(日)		41人

(6) 資料整理事業

館収蔵資料のうち未整理のカメラコレクションを中心に登録、仕分け直しを実施。

また横山隆一と横山泰三のそれぞれの油彩画各1点に、カビの付着が発見されたため、専門家に依頼してクリーニングを実施した。収蔵物の保存状態を調査し、環境改善等、適正な保存に努め、日常業務として新聞紙面、チラシ、パンフレット等まんがに関連する資料の整理、保存及びデータのシステム入力と収蔵品の整理を行っている。

収蔵資料公開の第一弾として8月末よりまんが館図書資料データのインターネット公開を開始した。

(7) 貸出事業

収蔵品の貸出事業として「高知市平和の日」記念事業の展示（会場：高知市立自由民権記念館）のために、戦時中の「フクちゃん」のはがきやまんが原稿、写真などの資料13点と戦争を描いたまんがなどの書籍40冊ほどを貸し出した。

(8) その他

- ① 館報『FUKU-FUKU』70号～73号を6月、9月、12月、令和2年3月に発行。平成30年度年報を9月に発行した。
- ② ホームページ、高知市広報「あかるいまち」や機関誌「文化高知」、かるぽーと月刊行事案内、高知新聞への情報掲載、県内外の各情報誌、インターネットの観光情報サイト等での広報活動の他、まんが館主催事業のチラシ・ポスター等を文化・観光施設等に送付し、まんが館のPRに努めた。
- ③ 龍馬パスポート利用館として、また福利厚生提供会社や各種お出かけサイトなどの割引クーポン制度に参画し、集客に努めている。
- ④ まんが文化や横山隆一についての講座・講演の依頼を受け実施。
 - 高坂学園生涯大学講座 「日本漫画と横山隆一」
 - 高知市民の大学 「横山泰三ー茶利言いの漫画家ー」
 - 旭文化センター 秋の市民学校 文学講座 「やなせたかしと横山隆一」
 - 土佐観光ボランティア養成講座 「横山隆一記念まんが館」
 - 小津高校 スーパーサイエンスハイスクール授業 「横山隆一記念まんが館」
- ⑤ 各種研修・会議への参加
 - 第25回 ICOM(国際博物館会議)京都大会2019に職員が参加。
 - 文化庁・国立教育政策研究所共催・博物館長研修を副館長が受講。

令和元年度 決算関係書類

1 財務諸表

(1) 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	234,836	230,060	4,776
預貯金	42,688,448	43,822,800	-1,134,352
未収金	1,253,163	977,115	276,048
前払金	34,992	69,984	-34,992
出版物	7,993,791	8,112,572	-118,781
商品	238,918	245,936	-7,018
立替金	106,378	77,326	29,052
流動資産合計	52,550,526	53,535,793	-985,267
2 固定資産			
基本財産			
基本財産引当預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
特定資産			
特定資産	400,000	400,000	0
特定資産合計	400,000	400,000	0
その他の固定資産			
車両運搬具	2	2	0
什器備品	265,948	228,615	37,333
文化資料	12,016,000	12,016,000	0
無形固定資産	1,027,332	640,476	386,856
その他の固定資産合計	13,309,282	12,885,093	424,189
固定資産合計	23,709,282	23,285,093	424,189
資産合計	76,259,808	76,820,886	-561,078
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	10,514,519	11,865,560	-1,351,041
前受会費	87,000	114,000	-27,000
未払消費税	3,542,000	2,390,600	1,151,400
預り金	8,204,977	9,383,684	-1,178,707
流動負債合計	22,348,496	23,753,844	-1,405,348
負債合計	22,348,496	23,753,844	-1,405,348
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	10,000,000	10,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
2 一般正味財産	43,911,312	43,067,042	844,270
(うち特定資産への充当額)	(400,000)	(400,000)	0
正味財産合計	53,911,312	53,067,042	844,270
負債及び正味財産合計	76,259,808	76,820,886	-561,078

(2) 損益計算書 (正味財産増減計算書)

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,008	997	11
基本財産受取利息	1,008	997	11
基本財産受取利息	1,008	997	11
事業収益	149,588,390	153,852,019	-4,263,629
文化事業収益	7,681,387	12,249,120	-4,567,733
文化事業収益	6,916,800	11,373,549	-4,456,749
まんが館事業収益	405,205	511,698	-106,493
賛助会費収益	204,000	168,000	36,000
出版物売払収益	154,382	187,873	-33,491
写真等貸出収益	1,000	8,000	-7,000
文化事業受託収益	141,907,003	141,602,899	304,104
高知市文化祭事業受託収益	7,240,648	7,088,000	152,648
中央公民館事業受託収益	51,710,481	51,922,762	-212,281
まんが館事業受託収益	41,981,419	43,179,153	-1,197,734
運営受託収益	40,974,455	39,412,984	1,561,471
受取補助金等	61,737,889	62,262,675	-524,786
受取地方公共団体補助金	60,510,889	62,060,174	-1,549,285
財団管理運営補助金	4,818,337	4,869,183	-50,846
文化事業補助金	46,438,165	47,621,590	-1,183,425
文化活動等助成事業補助金	9,254,387	9,569,401	-315,014
受取民間助成金	1,227,000	202,501	1,024,499
事業助成金	1,227,000	202,501	1,024,499
受取寄付金	0	200,000	-200,000
文化事業寄付金	0	200,000	-200,000
文化事業寄付金	0	200,000	-200,000
雑収益	1,055,070	1,402,434	-347,364
雑収益	1,055,070	1,402,434	-347,364
運営事業雑収益	167,315	107,247	60,068
中央公民館実習材料販売等雑収益	821,780	1,189,430	-367,650
まんが館事業雑収益	55,505	50,353	5,152
自主事業雑収益	10,100	29,860	-19,760
出版事業雑収益	370	864	-494
夏季大学雑収益	0	24,680	-24,680
経常収益計	212,382,357	217,718,125	-5,335,768

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常費用			
事業費	205,429,288	212,983,039	-7,553,751
役員報酬	1,918,022	1,910,866	7,156
給料	47,214,334	50,182,605	-2,968,271
手当	31,288,504	32,733,308	-1,444,804
賃金	14,593,932	14,387,774	206,158
福利厚生費	20,066,825	20,994,571	-927,746
食糧費	259,780	266,115	-6,335
旅費交通費	4,198,372	5,554,266	-1,355,894
通信運搬費	1,752,433	1,646,628	105,805
減価償却費	825,502	2,151,605	-1,326,103
消耗什器備品費	95,877	0	95,877
消耗品費	4,496,649	3,028,066	1,468,583
修繕費	29,298	31,707	-2,409
印刷製本費	3,062,972	3,211,465	-148,493
燃料費	78,374	95,760	-17,386
賃借料	6,544,332	9,294,439	-2,750,107
広告宣伝費	697,296	1,420,264	-722,968
保険料	415,262	416,571	-1,309
委託費	37,579,724	36,535,358	1,044,366
諸謝金	14,208,118	14,834,803	-626,685
租税公課	8,610,000	6,775,332	1,834,668
負担金	6,888,584	6,886,810	1,774
雑費	605,098	624,726	-19,628
管理費	6,108,795	6,343,488	-234,693
役員報酬	3,064,234	3,060,698	3,536
給料	476,912	506,895	-29,983
手当	791,760	940,014	-148,254
賃金	92,492	89,720	2,772
福利厚生費	1,032,556	1,045,670	-13,114
交際費	0	5,000	-5,000
食糧費	0	27,666	-27,666
旅費交通費	0	2,838	-2,838
通信運搬費	38,157	49,220	-11,063
減価償却費	17,705	45,770	-28,065
消耗什器備品費	1,707	0	1,707
消耗品費	86,686	152,436	-65,750
修繕費	212	612	-400
印刷製本費	6,316	26,133	-19,817
燃料費	3,266	3,990	-724
賃借料	52,252	118,575	-66,323
保険料	91,608	92,029	-421
委託費	141,860	94,329	47,531
租税公課	134,660	72,528	62,132
負担金	68,356	2,798	65,558
雑費	8,056	6,567	1,489
経常費用計	211,538,083	219,326,527	-7,788,444
当期経常増減額	844,274	-1,608,402	2,452,676
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	4	0	4
什器備品除却損	4	0	4
経常外費用計	4	0	0
当期経常外増減額	-4	0	0
当期一般正味財産増減額	844,270	-1,608,402	2,452,676
一般正味財産期首残高	43,067,042	44,675,444	-1,608,402
一般正味財産期末残高	43,911,312	43,067,042	844,270
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	53,911,312	53,067,042	844,270

(3) 損益計算書（正味財産増減計算書）内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	1,008	1,008
基本財産受取利息	0	1,008	1,008
基本財産受取利息	0	1,008	1,008
事業収益	148,325,310	1,263,080	149,588,390
文化事業収益	6,824,923	856,464	7,681,387
文化事業収益	6,060,336	856,464	6,916,800
まんが館事業収益	405,205	0	405,205
賛助会費収益	204,000	0	204,000
出版物売払収益	154,382	0	154,382
写真等貸出収益	1,000	0	1,000
文化事業受託収益	141,500,387	406,616	141,907,003
高知市文化祭事業受託収益	7,240,648	0	7,240,648
中央公民館事業受託収益	51,710,481	0	51,710,481
まんが館事業受託収益	41,981,419	0	41,981,419
運営受託収益	40,567,839	406,616	40,974,455
受取補助金等	56,919,552	4,818,337	61,737,889
受取地方公共団体補助金	55,692,552	4,818,337	60,510,889
財団管理運営補助金	0	4,818,337	4,818,337
文化事業補助金	46,438,165	0	46,438,165
文化活動等助成事業補助金	9,254,387	0	9,254,387
受取民間助成金	1,227,000	0	1,227,000
事業助成金	1,227,000	0	1,227,000
受取寄付金	0	0	0
文化事業寄付金	0	0	0
文化事業寄付金	0	0	0
雑収益	935,225	119,845	1,055,070
雑収益	935,225	119,845	1,055,070
運営事業雑収益	47,470	119,845	167,315
中央公民館実習材料販売等雑収益	821,780	0	821,780
まんが館事業雑収益	55,505	0	55,505
自主事業雑収益	10,100	0	10,100
出版事業雑収益	370	0	370
経常収益計	206,180,087	6,202,270	212,382,357

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
(2) 経常費用			
事業費	205,429,288	0	205,429,288
役員報酬	1,918,022	0	1,918,022
給料	47,214,334	0	47,214,334
手当	31,288,504	0	31,288,504
賃金	14,593,932	0	14,593,932
福利厚生費	20,066,825	0	20,066,825
交際費	0	0	0
食糧費	259,780	0	259,780
旅費交通費	4,198,372	0	4,198,372
通信運搬費	1,752,433	0	1,752,433
減価償却費	825,502	0	825,502
消耗什器備品費	95,877	0	95,877
消耗品費	4,496,649	0	4,496,649
修繕費	29,298	0	29,298
印刷製本費	3,062,972	0	3,062,972
燃料費	78,374	0	78,374
賃借料	6,544,332	0	6,544,332
広告宣伝費	697,296	0	697,296
保険料	415,262	0	415,262
委託費	37,579,724	0	37,579,724
諸謝金	14,208,118	0	14,208,118
租税公課	8,610,000	0	8,610,000
負担金	6,888,584	0	6,888,584
雑費	605,098	0	605,098
管理費	0	6,108,795	6,108,795
役員報酬	0	3,064,234	3,064,234
給料	0	476,912	476,912
手当	0	791,760	791,760
賃金	0	92,492	92,492
福利厚生費	0	1,032,556	1,032,556
通信運搬費	0	38,157	38,157
減価償却費	0	17,705	17,705
消耗什器備品費	0	1,707	1,707
消耗品費	0	86,686	86,686
修繕費	0	212	212
印刷製本費	0	6,316	6,316
燃料費	0	3,266	3,266
賃借料	0	52,252	52,252
保険料	0	91,608	91,608
委託費	0	141,860	141,860
租税公課	0	134,660	134,660
負担金	0	68,356	68,356
雑費	0	8,056	8,056
経常費用計	205,429,288	6,108,795	211,538,083
当期経常増減額	750,799	93,475	844,274
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損			
什器備品除却損	4	0	4
経常外費用計	4	0	4
当期経常外増減額			-4
当期一般正味財産増減額			844,270
一般正味財産期首残高			43,067,042
一般正味財産期末残高			43,911,312
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高			10,000,000
指定正味財産期末残高			10,000,000
III 正味財産期末残高			53,911,312

2 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針
- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
個別法による原価法をとっております。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産
車両運搬具及び什器備品…定率法によっております。
無形固定資産
定額法によっております。なお、ソフトウェアについては、法人内における利用可能期間(5年)に基づき定額法によっております。
- (3) リース会計基準適用初年度開始前及び重要性の乏しいリース取引
引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用しております。
所有権移転外ファイナンスリースの内容及びその残高は、次のとおりであります。
プロジェクターの賃貸借契約(契約期間2016.1.1～2020.12.31)残額364,500円
大判プリンターの賃貸借契約(契約期間2015.10.1～2020.9.30)残額27,408円
iMac2台の賃貸借契約(契約期間2015.7.1～2020.6.30)残額24,492円
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっております。
2. 会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。
(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	—	—	10,000,000
小計	10,000,000	—	—	10,000,000
特定資産				
特定資産	400,000	—	—	400,000
小計	400,000	0	0	400,000
合計	10,400,000	0	0	10,400,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。
(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産か ら)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				—
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	—	—
小計	10,000,000	(10,000,000)	—	—
特定資産				—
特定資産	400,000	—	(400,000)	—
小計	400,000	—	(400,000)	—
合計	10,400,000	(10,000,000)	(400,000)	—

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
直接法により減価償却を行っている
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。
(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,808,205	1,808,203	2
什器備品	4,873,226	4,607,278	265,948
無形固定資産	46,518,961	45,491,629	1,027,332
合計	53,200,392	51,907,110	1,293,282

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおり
であります。

(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末 残高
未収金	1,253,163	0	1,253,163
合 計	1,253,163	0	1,253,163

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりであります。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
運営費補助金	高知市	0	4,818,337	4,818,337	0	—
事業費補助金	高知市	0	55,692,552	55,692,552	0	—
助成金						
事業助成金	一般財団法人 地域創造	0	1,227,000	1,227,000	0	—
合 計		0	61,737,889	61,737,889	0	

8. 関連当事者との取引の内容
該当事項はありません。

9. 重要な後発事象
該当事項はありません。

3 附属明細書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載

4 財 産 目 録

令和 2 年 3 月 31 日 現 在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現 金	手元保管	運転資金として	234,836
	預 貯 金	普通預金		
		四国銀行高知市役所支店	運転資金として	31,843,153
		四国銀行高知市役所支店	公民館使用料等預かり口座	839,295
		ゆうちょ銀行 郵便振替	賛助会費等受入口座	6,000
		定期預金		
		高知銀行県庁支店	運転資金(財産運用)として	10,000,000
	未 収 金		事業助成金及び出版物等の売上	1,253,163
	前 払 金		給与ソフトの保守料(5年分一括払)	34,992
	出 版 物		公益目的保有財産であり、公益目的事業として販売している。	7,993,791
商 品			238,918	
立 替 金		高知市生涯学習課の電話機器使用料の立替払いほか	106,378	
流動資産合計				52,550,526
(固定資産)				
基本財産	預 金	定期預金		
		四国銀行高知市役所支店	基本財産として	10,000,000
特定資産	預 金	普通預金		
		四国銀行高知市役所支店	高知出版学術賞特別賞賞金の資金として保有	400,000
その他の固定資産	車両運搬具	マツダデミオ・ダイハツハイゼット	共用財産として保有	2
	什器備品			265,948
	文化資料	75点	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。	12,016,000
	無形固定資産		共用財産として保有	1,027,332
固定資産合計				23,709,282
資 産 合 計				76,259,808
(流動負債)				
	未 払 金		平成31年度事業費及び管理費未払い金	10,514,519
	前 受 会 費		Culちゃーず次年度会費	87,000
	未 払 消 費 税		平成31年度確定納付	3,542,000
	預 り 金		中央公民館使用料等、高知市返還金及び社会保険料預り金等	8,204,977
流動負債合計				22,348,496
負 債 合 計				22,348,496
正 味 財 産				53,911,312

監査報告書

令和 2 年 5 月 16 日

公益財団法人高知市文化振興事業団

理事長 脇口 宏 様

監事

橋本和明



監事

西村純子



平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行について監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

理事及び事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類〔貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)〕及びその附属明細書並びに財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及び財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上